

コミュニティ施設を利用した地域活性化

普通科53班

1. 背景と目的

- ・現在、日本では過疎化が進行している
→コミュニティの場が重要視



- ・SDGs 11.住み続けられるまちづくり
「だれもが安全で使いやすい緑地や公共の場所を
使えるようにする」

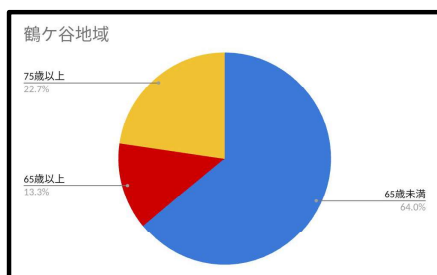
目的：誰もが自由に使うことのできる公共の施設を起点にして、地域住民のコミュニティの場を設ける

2. 調査

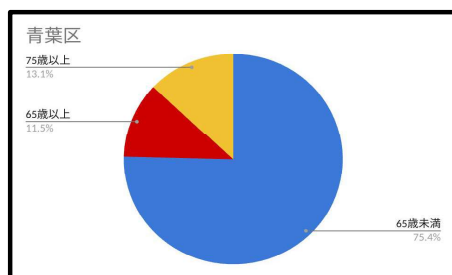
仙台市鶴ケ谷市民センター

〈着目理由〉

- ・私たちの生活に身近な建物
- ・鶴ケ谷地域の高齢化



宮城野区鶴ケ谷の65歳以上の割合 1)



青葉区の65歳以上の割合 2)

◎鶴ケ谷地域は宮城県内の他の地域と比較して
高齢化が進んでおり、**地域住民のコミュニティの場が
さらに重要視される**



多世代の交流の機会として

ビブリオバトル を提案

ビブリオバトル（知的書評合戦）とは

参加者同士で本を紹介し合い、もっとも読みたいと思う
本を投票で決めるコミュニケーションゲーム

ビブリオバトルのやり方の図 3)

〈選んだ理由〉

- ①三高のLHRで行っている
- ②市民センターの図書室を活用できる
- ③幅広い世代の人が参加できるゲームである

3. 結果・考察

〈イベントの流れ〉

1日目

- ・班員がビブリオバトルを実施
- ・本を選ぶ

2日目

- ・アイスブレイク
- ・輪になってビブリオバトルを実施
- ・アンケート

〈成果〉

- ・参加してくださった方は4名
→想像していたよりも少なかったが、近い距離感で行うことができた。

- ・アイスブレイクで「2つの真実と1つの嘘」を実施
→お互いを知るきっかけになった
あたたかい雰囲気のなかでビブリオバトルを行えた

〈アンケート〉

Q.どうして参加しようと思いましたか？

学生さんとの接点を作りたいから。

今の高校生がどんな本に関心を持ち読んでいるのかを知りたいと思って

Q.参加してみていかがでしたか？

年代の違う三高生や初めてお会いする方たちと興味ある会話ができ嬉しい時間でした。

これからも定期的に開催してほしい。

今日紹介された本を図書館から借りて読んでみよう。

〈まとめ〉

- ・高校生との接点を持ちたいと
思っている方が多かった。

→多世代交流の機会の必要性

- ・若い世代の人の集客や、

今後どのようにして持続していくかが課題

4. 参考文献

- 1)地域の統計地理データtowncheck（国政調査2020年度調査結果）
- 2)統計時報 令和二年国政調査人口等基本集計結果
- 3)ビブリオバトル素材集
知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト
公益財団仙台ひと・まち交流財団
鶴ケ谷市民センター
セキスイハイムスーパーアリーナ
堺市立中央図書館
堺市歴史文化にぎわいプラザ さかい利品の杜
仙台市推計人口及び人口動態

